

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612

E-mail : asokaho@pref.kumamoto.lg.jp

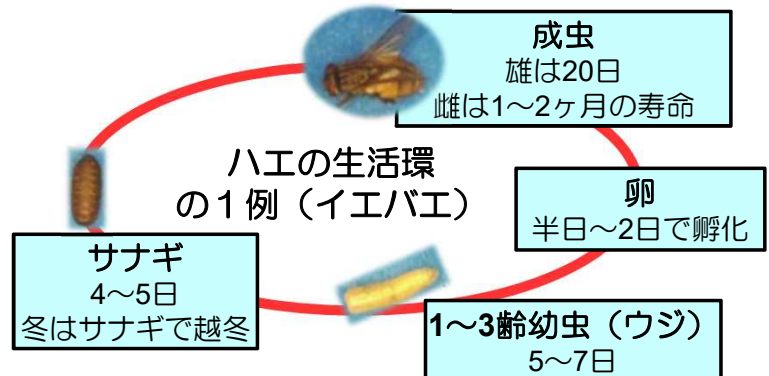
HP address : <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/80/>

## ハエ対策に取り組みましょう

ハエは、家畜に対し不快感やストレスを与えるほか、疾病を伝播するなど衛生上の問題も引き起こします。ハエが大量発生すると、家畜の生産性が低下するだけでなく、家畜防疫の観点からも農場に不利益をもたらすためハエの防除は重要です。

ハエは、繁殖力が強く、雌は1回100個程度の卵を一生のうちに4～6回ほど産卵します。環境の温度によって成長の早さは異なり、早ければ10日程度で成虫になります。

ハエの発生は、6月～7月にピークを迎え、8月に若干減少し、秋口に再び増加します。また、飼養衛生管理基準においても、ネズミ及び害虫対策が求められています。積極的にハエの防除対策を実施して、ハエの少ない農場にしましょう。



日本防疫殺虫剤協会ホームページより

ハエ対策は「環境対策」が基本です。

「薬剤による殺虫」とバランス良く実施しましょう。

### 環境対策

○ハエは、湿った糞や飼料に産卵します。早めに糞を取り除き堆肥舎で発酵等、適正に処理しましょう。また、食べ残した飼料は取り除き、飼槽からこぼれたものもこまめに掃除しましょう。

○ハエの卵は、適度に湿った場所に産卵され、乾燥した場所では死滅します。給水設備に水漏れがある際は修理を行うとともに、畜舎の換気、通気を行いましょ。

○堆肥化の際は、適正な水分調整を行うことで60℃以上の発酵熱が発生し、この発酵熱によって幼虫を死滅させることが可能です。全体的に発酵温度をあげるため1週間以内の間隔で切り返しを行うことが必要です。

### 薬剤による殺虫

○一般に幼虫は、成虫の4倍存在すると言われます。薬剤を使用する場合は、幼虫対策から取り組み、発生源を叩くとより効率的です。

○同じ種類の薬剤を連続使用し続けると効果が低くなってきます。効果を維持させるため、適宜異なる種類の薬剤に交換しましょう。

# 放牧事故を防ぎましょう！！

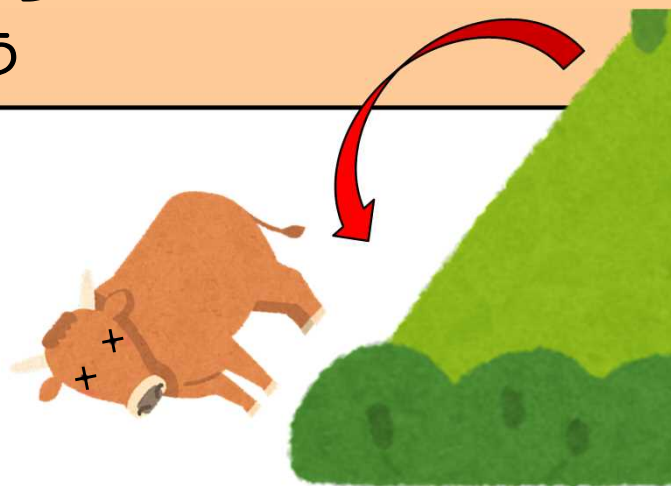
阿蘇地域では放牧が盛んに行われ、肉用繁殖牛の低コスト生産だけでなく、雄大な草原景観の維持に欠かせません。

一方で、放牧に慣れない牛や、草が少なくなる時期に、草を求めて危険な場所まで入り込み、滑落して死亡するなどの事故が昨年度は**12件**発生しており、本年度は、8月末までに**7件**発生しています。中には、分娩事故により親子で死亡が発見される事例もあります。以下の点に注意して、事故を未然に防ぎましょう。

- 放牧馴致を行いましょ
- 定期的な危険箇所の確認と牧柵などの対策を行いましょ
- 分娩2か月前には退牧させましょ
- 定期的な牛の確認を行いましょ

万が一、放牧事故が発生した際には、連絡窓口である**阿蘇地域振興局農業・普及振興課畜産支援班**（0967-22-5212）への早期通報をお願いします。搬出不可の場合には、保健所の埋却許可が必要となります。

なお、**96か月齢以上の牛の場合**は、**BSE検査が必要**ですので、**現地にて採材**を行います。畜主の方には、**申請書と検査料金の提出**をお願いします。



## 近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地(国)	畜種	発生日
口蹄疫(FMD)	O型	インドネシア	不明	令和4年
アフリカ豚熱(ASF)		ロシア(32件) 韓国(1件)	豚・野生いのしし 豚	令和4年7月25日 令和4年8月18日

令和4年(2022年)9月1日現在



## 毎月20日はくもと家畜防疫の日

韓国や台湾など近隣諸国では依然として悪性家畜伝染病が発生しています。地域全体で衛生水準を上げる事が重要です。

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。  
下記アドレスもしくは右のQRコードより、登録用ホームページへ！

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/4/56061.html>

